

団体調書【はじめの一步部門】

(1) 団体概要

団体名	たいようの会	HP 等 URL	
団体種別と 設立年月	<input type="checkbox"/> NPO 法人 (年 月) <input type="checkbox"/> その他法人 (年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 (平成31年 9月)	活動 分野	13、2
代表者名	役職名：会長 氏名：大久保 翔	会員 数	5名
団体連絡先 (申請担当 者)			

(2) 会員名簿

--	--	--	--

ありがとうございます。(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	<p>普段、体験できない自然の中での活動や本物体験を通じて、考え、動き感じる力を子どもに実感してもらい生きる力や五感を感じることが“教育”とし必要だと考えられる。野外活動や自然体験を通じて、子どもたちが楽しく関心、興味を持てるような教育を行い、子どもの自主性や協調性、社会性の向上など、子どもの成長と心身の健全な発達を促していく。</p> <p>また「少子化対策」として保護者や先生たちの子育ての負担を減らす事を相談や勉強会を通じ、行っていくことでより良い子育て環境に繋げ少子化の歯止めとしていきたい。</p>
活動の内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびっ子」2019年9月～ 幼稚園教諭、保育士の勉強会を開催 ・「asobiba」2020年～ ウォークラリーや逆上がり講習会の開催 ・「たいようの学校」2021年～ 防災キャンプ、飯盒炊飯、もちつき、焼き芋 火起こし体験、登山、ネイチャーゲーム等 野外活動、自然体験を開催

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

<ul style="list-style-type: none"> 報償費 講師謝礼 10,000円 時期：8月 会場：豊田市総合野外センター 内容「昆虫博士と虫について学ぼう」 効果：子どもたちに生き物の生態や自然環境について専門的な知識を学び楽しむ 保険料 野外活動保険 54,000円 1名100円 45名 12回分 効果：活動中の事故、怪我の為に加入 活動を安心して行う為 使用料 60,000円 54,000円 豊田総合野外センター 1名 100円 45名 12回分 6,000円 交流館 1,000円 6回分 印刷費 20,000円 効果：活動PRの為にチラシ代、インク代

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか) 	<ul style="list-style-type: none"> 自然遊びや体験を通じて、子どもたちがさまざまな感性を持ち、家族や他の子どもと協力して一つのことを成し遂げるなど自主性、協調性、社会性を育むことができる活動を提供していく。 子どもをとりまく、保護者や先生などの交流や勉強会なども主な活動としてトータルで子育てを支援していく。
<p>【資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。 	<ul style="list-style-type: none"> 正規会員 会費 野外活動イベントでは参加費を徴収し会場使用料や保険、材料費等に充てる。 より魅力的なイベントを開催し、参加者の人数を増やし、安定的な資金の確保に繋げていく。
<p>【継続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。 適正な事業計画が作成されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> たいようの学校は 2021 年より1ヶ月に1回を目標に、定期的に会議を行い、安全かつ親子で楽しめる活動を行っている。(現在2年で15回程度実施) 会員内で情報をLINEやSNSで共有したり、データを共有することで、実施内容や、運営資金を全員が把握し、運営している。 まなびっこ(先生たちの勉強交流会)はコロナ禍で休止していたが、今後は規模拡大の為に広報活動を重視し、認知度を上げる必要がある。また、講師などを積極的に呼び、新規会員目標を2年で100名とする。